

持続可能な都市モビリティのデザインに関する国際ワークショップ

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年03月05日 ～2023年03月14日	オーストリア	ウィーン工科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工学科、環境システム学科、先進国際課程、建設工学専攻 ・学部3年生、学部2年生、学部4年生、修士2年生、修士1年生 	(芝浦工業大学) 学生11名、学生バイト2名、 教員2名 (ウィーン工科大学) 学生9名、教員3名	栗 奕平(土木工学科)、大山 雄己(土木工学科)

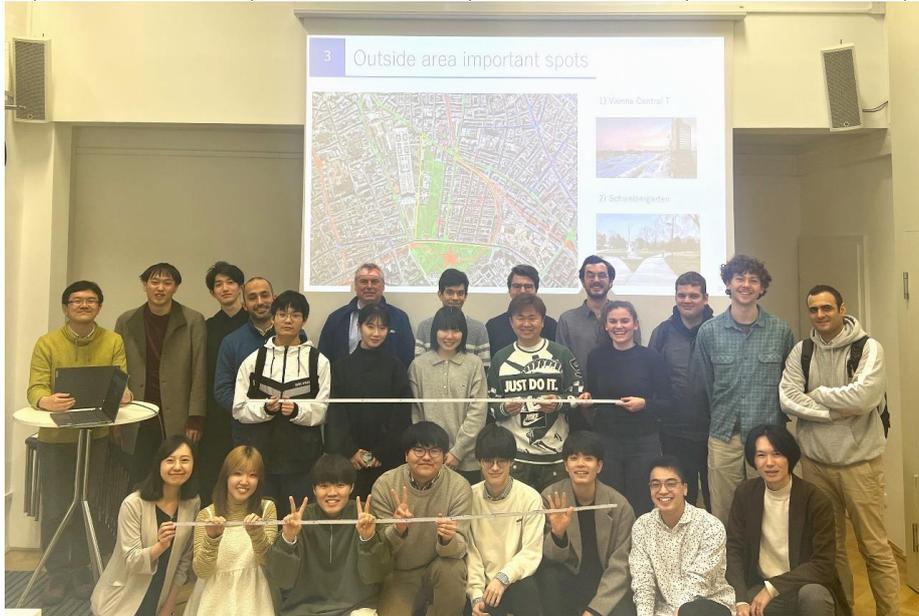


図1 集合写真

オーストリア・ウィーン工科大学にて持続可能な都市モビリティのデザインをテーマにグローバルPBLを行った。このPBLには土木工学科と先進国際課程の学生が参加し、ウィーン市内のFasanviertel地域を対象に各5テーマ(ウォークビリティ、自転車・eスクーターの利用、公共空間のデザイン、外部地域との接続性等)に沿った課題分析や解決提案を行った。当初は現地学生との議論に苦勞する場面もあったが、日を追うごとにあらゆる手段を使ってコミュニケーションする力と計画力が育成された。また、欧州で取り組まれているスーパーブロック構想について実務者から説明を頂く機会もあり、参加学生にとって新たな知見を得る機会となった。



図2 現地調査(スーパーブロック)



図3 グループワークの様子



図4 現地調査@Fasanviertel



図5 成果発表会



図6 シェーンブルン宮殿



図7 ソーシャルディナー